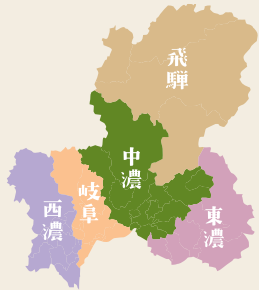




六ノ里の棚田(畑ヶ谷)



水^みと^り土^り里^りをめぐ^る

岐阜県では、土壌改良施設や地域資源の保全に対する取り組みを「ぎふ水土里のプロジェクト」として展開しています。

「水土里」の「水」は清い流れの農業用水、「土」は緑豊かな農地、「里」は豊かな自然や農村風景を表現しています。

岐阜県の自然と風土を「飛山濃水」と言います。

飛山とは飛騨山岳部と飛騨高原を言い、濃水とは濃尾平野の平坦部を言うもので、極めて変化に富んだ農業が営まれてきました。

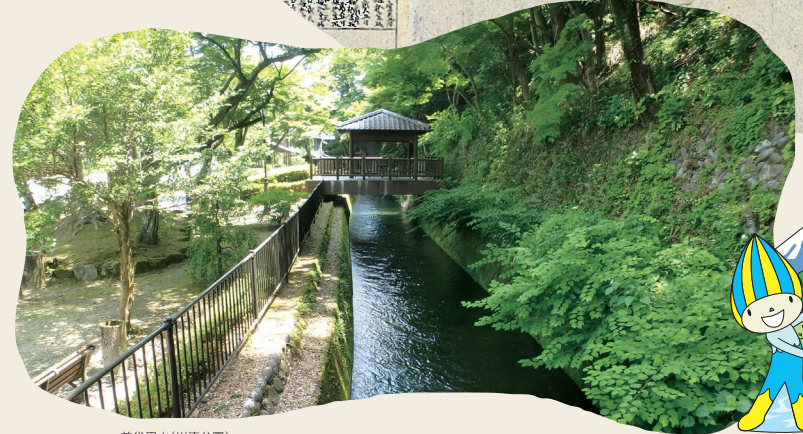
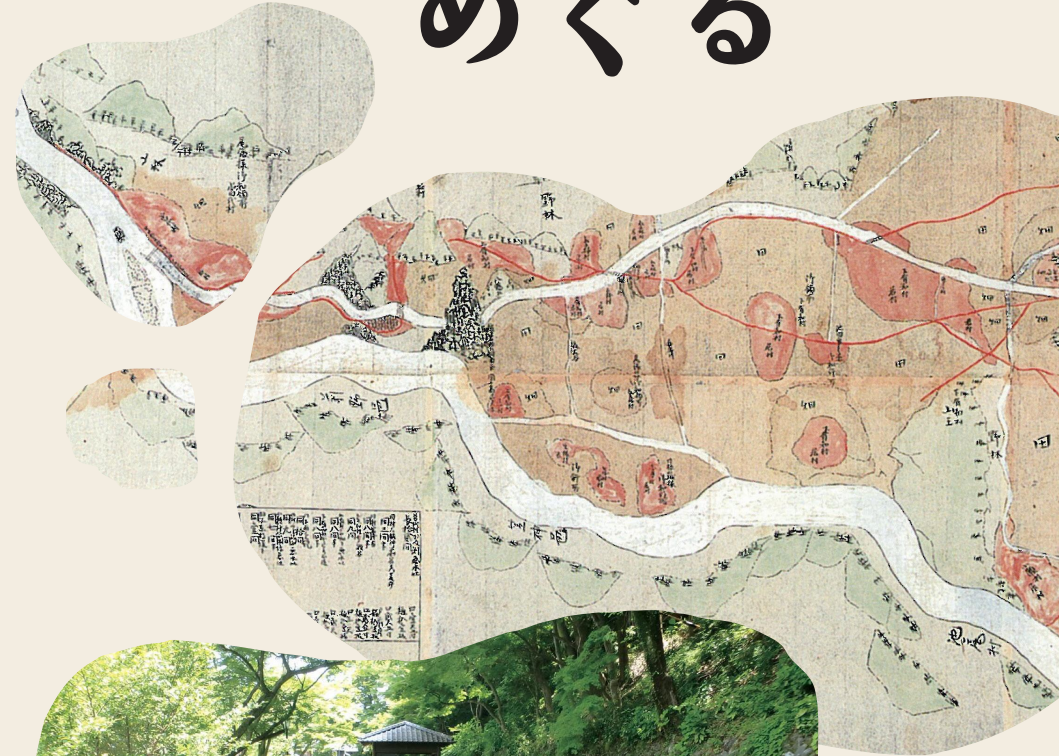
この中には、地域において恵まれ

ない自然条件を克服し工夫を凝らし、今日の農業基盤を築いてきた古い歴史があります。

また、懐かしい「日本の原風景」である棚田もあり、美しい風景が見られるとともに、祖先の叡智を守り伝えていきます。

これら岐阜県の「水土里」を美しい姿のまま未来へ残すための取り組みの一つとして、建設から50年程度を経過したものや、歴史を秘めたもの、現在も地域振興として活用されている土壌改良施設をまとめたガイドブックを作成しました。

水^みと^り土^り里^りをめぐ^る



曾代用水(川湊公園)



お問い合わせ

中濃農林事務所
郡上農林事務所
可茂農林事務所

美濃市生籾1612-2

郡上市八幡町初音1727-2

美濃加茂市古井町下古井2610-1

0575-33-4011(内線227)

0575-67-1111(内線218)

0574-25-3111(内線415)

発行元

岐阜県農政部農村振興課

岐阜市藪田南2-1-1 TEL 058-272-1111(内線3173)

清流の国ぎふ

みどり
水土里をめぐる

中濃エリア マップ

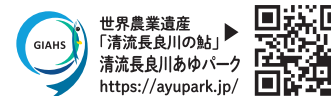
中濃エリア



六ノ里棚田
(三ヶ村・畑ヶ谷)
郡上白鳥ICから車で約10分
P5へ▶

高鷲／白鳥

冬はスノーリゾート、グリーンシーズンもキャンプ、ジップライン等の高原アクティビティをはじめ、動物とお花のテーマパーク「牧歌の里」や、鮎のつかみ取りや釣り体験から塩焼きまで楽しめる「清流長良川あゆパーク」もぜひ!

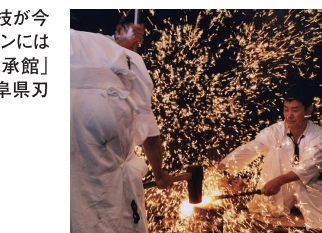


美濃

美しい川の水と、豊かな山々に育つ良質な原材料で作られる美濃和紙は、1300年の歴史の中で守り継がれた伝統の技法と高い品質によって世界遺産^(*)に登録。「美濃和紙の里会館」では紙すきの体験や美演見学で、その職人技に触れることも!

(*)2014年、「和紙:日本の手漉和紙技術」としてユネスコ無形文化遺産に登録

美濃和紙 ▶
<http://www.city.mino.gifu.jp/folders/285>



刀匠・(丹波兼信)丹波清吾

郡上

せせらぎに沿った町並みが情緒あふれる城下町・郡上八幡といえば、徹夜で踊り明かすお盆の4日間がクライマックスとなる「郡上おどり」。周辺では白山信仰にふれる史跡めぐりや、ラフティングやカヌー、鮎釣りなど澄みきった清流を満喫できる!

TABITABI郡上 ▶
<https://tabitabigujo.com/>



関

鎌倉時代から受け継がれる関鍛冶の伝統と技が今も息づく刀都。静かなブームが続く日本刀ファンにはたまらない刀匠の逸品が見られる「関鍛冶伝承館」では月に一度、古式日本刀鍛錬の実演も。岐阜県刀物会館では良質な刃物が安価に入手できる!

▶ たびものがたりin関
<https://sekikanko.jp/>



1 やまびこロード

戦後の食糧確保のため開拓された畑の流通安定化を目的に整備された農道。四季折々の牧歌的な農村風景を楽しめる。



2 正ヶ洞棚田

白山への登山道「美濃禪定道」に寄り添うように広がる、大半が江戸時代に開墾された石積み美しい棚田。



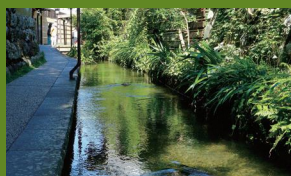
3 剣用水

成り立ちは日本最古の女帝・推古天皇の時代といわれ、江戸時代には取水をめぐる周辺の村の間で水争いが起きたことも。



4 那留用水

大正六年頃、那留ヶ野の竹下喜一郎らの計画で当時画期的なサイフォンの原理を使い造成され、今も水を運び続ける。



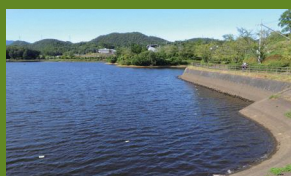
5 島谷用水

郡上八幡城下の生活に密着した水路網は寛文年間の絵図にも記されており、今ではせせらぎの散策道「いわ小経」も。



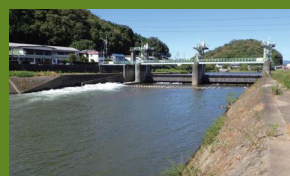
6 上野用水

江戸時代の末期、田が少なく生活に苦しむ人々を救うため、森田権右衛門が、洪水や堅い岩盤などの困難を乗り越え造成。



7 中池

奈良時代の高僧泰澄によって構築された伝承をもつ岐阜県最古のため池。周辺は「カワセミの里」として憩いの場。



8 倉知頭首工

江戸時代初期、村有林から切り出した松丸太で馬を作り、これに石を積み固定して堰き止める「井の子作り」で造成。



長良川鉄道



曾代用水

P3へ▶

美濃ICから
車で約10～15分



花みこし



関市円空館



江戸時代の曾代用水

曾代用水

そだいようすい

私たちが日常の暮らしのなかでいただくおいしいお米。
しかしそれは先人たちの想像もつかないほど大きな困難と工夫、
そしてそれを受け継ぐ人々の努力によってもたらされたものなのです。

農民など民間の人々によってつながった願いと水路

かつて、関市・美濃市の辺りでは長良川の川底が大地から10mも下にあり、水を汲み上げることができなかったため、毎年干ばつが続き、収穫量は極めて少ないものでした。

江戸時代初期、尾張藩から移住してきた喜田吉右衛門と弟の林幽閑はこの状況を見かね、地元で造り酒屋を営んでいた柴山伊兵衛とともに私財を投じ用水の開発に着手しました。

3氏は、集落間の利害の調整、領主への嘆願、測量や家屋の立退きなどに奔走。起工後も固い

岩盤の堀削、たびたびの洪水など困難の連続で、志半ばで私財は底を突いてしまいましたが、それでも用水の恵みを受ける4村が「井組合」をつくり、資金を出し合い用水を守っています。

時は昭和となり、二度の工事を経て、本線10km、4支線合わせて17kmの用水が完成しました。

江戸後期には喜田、林、柴山を讃える井神社と碑が建立され、現在でも毎年8月に3氏への感謝をあらわす例大祭が行われています。

「世界かんがい施設遺産」に登録されている曾代用水

当時としては先進的で画期的な技術によって、しかも農家主導で建設されたことが全国でも珍しく、約350年もの長きにわたり農業の発展に貢献してきたことから、平成27(2015)年、曾代用水は岐阜県初の「世界かんがい施設遺産」に登録されました。

曾代用水の歴史 **見**どころスポット

【所在】関市、美濃市
【管理者】曾代用水土地改良区
【概要】かんがい面積：約1,000ha 水路延長：約17km



① 取水口

昭和のはじめ、水量をより確保するため、水の取り入れ口を650m上流に移転しました。



② 曾代公園(みちくさ館)

昭和のはじめまで取水口があった跡地に、公園や美濃の特産物の直売所が設けられています。



③ 川湊公園

江戸初期に物資輸送の玄関口となる川湊が、後期にはシンボルの川湊灯台が建設されました。



④ 立ヶ岩 岩盤堀削跡

手作業で強固な岩の壁を掘り抜いていった、今でも建設当時の用水の姿がうかがえる場所。



⑤ 神光寺の石碑

地元のためにとの一途な精神で私財をなげうち大事業に臨んだ3氏の碑が建てられています。



⑥ 井神社

3氏を祭神としてつくられた神社で、毎年8月1日に3氏の霊を祀る例大祭が開催されます。



⑦ 杵之戸分水

用水を三地域へ分け送る施設。平成28年には当時の皇太子同妃両殿下のご視察を賜りました。



おすすめスポット

ちょっと足をのばして…

長良川鉄道

中山道太田宿から関、美濃、郡上八幡を通り白鳥に至る、清流長良川沿いをのんびり走るローカル列車。グルメなどイベントとコラボした企画列車も随時登場します。



◀ 長良川鉄道株式会社
<http://www.nagatsutsu.co.jp/>

美濃のまちなみ

江戸時代に築かれた「うだつの上がる町並み」が残る中心地では、4月の第2土・日に「花みこし」が練り回り、伝統の素劇「流しに輪加」も随所で演じられ、お祭り一色に!



◀ 美濃市観光情報
<http://www.mino-city.jp/jp/>

円空

江戸時代の僧・円空は、岐阜で生まれ各地を旅しながら人々の幸を願い12万体系の本影りの仏像を彫り続けました。晩年を過ごした関市のミュージアム「円空館」では、そんな円空仏の数々が展示されています。



◀ 円空さん(関市観光協会)
https://sekikanko.jp/modules/docs/index.php?cat_id=4



畑ヶ谷棚田のイラスト田んぼ

六ノ里の 棚田

ろくのりのたなだ

さんがむら
三ヶ村
はたがたに
畑ヶ谷

山あいの斜面に、階段状に作られた「棚田」が広がる風景。
岐阜県の山間地域では、それを守り受け継いできた農家の営みによって、
そんな美しい「日本の原風景」が今も息づいています。

六の里 棚田米

六の里の地勢に合わせた栽培暦に基づき、白尾山の美しい湧水を使い、減農薬で丹精込めて作られるおいしいお米。

六の里棚田米生産組合 ▶
<https://rokonori.theshop.jp/>



「ぎふ水土里のプロジェクト」
イメージキャラクター
田ヶロー

棚田って何？

山や丘などの斜面に階段状に造られた田んぼを「棚田」と言います。地域によっては「干枚田」「谷津田」と呼ぶところも。一般的には、傾斜度が20分の1（水平距離を20m進んで1m高くなる傾斜）以上のことを言います。

岐阜県には約4,200haの棚田があり、それは県内の水田の約1割にあたります。

棚田の役割

- 1 昼夜の温度差でゆっくり稲が実り、おいしいお米ができます。
- 2 昔ながらの景観が四季折々に姿を変え見る人の心を癒します。
- 3 農家が手入れしたあぜが地すべりを防ぎ、大雨の際には水をたくわえ下流域の洪水を防ぎます。
- 4 田の水がゆっくり蒸発することで気温の上昇を抑えます。
- 5 蓄えた水がゆっくり浸み込み、きれいな地下水を増やします。
- 6 多様な生きものすみかとなり、豊かな生態系が保たれます。

昔この地域は畑ヶ谷、藤林、高久、折、栃洞、橋詰の
6つの里からなっていたことが、六ノ里の名の由来となっています。



三ヶ村棚田

江戸時代に作られたと言われる石積みが、今でも良好な状態で保たれているのが特徴です。「奥美濃こもれび街道」から見おろす四季折々の里山の姿は絶景。

地元の人々が
中心となって
里山の風景と営みを
未来につないでいます。



畑ヶ谷棚田

コシヒカリ(緑)や古代米(黒・白・黄)などの稲で田んぼに絵を描く「イラスト田んぼ」(7月中旬～8月中旬が見ごろ)や、子どもたちに農業を楽しんでもらう体験を通じて、地域の豊かな自然と里山の風景を守り育てています。



三ヶ村棚田を守る会 /
畑ヶ谷棚田を守る会
(間)TEL.0575-82-3111
(郡上市役所 白鳥振興事務所)

六ノ里の 魅力発掘！

知る人ぞ知る
隠れ里スポットを
さがしてみよう！



ぜんしょうじ 善勝寺

1357年天台のお堂を建てたのが始まりと伝えられ、白尾山の登拝口として山岳信仰の色合いを残す古寺。春には推定樹齢400年の桜の大木や花桃など色とりどりの花がふれ、4月後半には「桜まつり」を開催、毎晩、善勝寺桜が見事にライトアップされます。

三寺詣り

12月31日、集落にある善勝寺、光雲寺、光蓮寺の三寺に詣る年越し行事。真っ白な雪の中、青竹で作られたカンテラの蠟燭の灯りが揺らめき、幻想的な光景を生み出します。

拝殿踊り

9月に平谷、栃洞、位山の白山神社で順次開催される、白鳥・郡上踊りの元になったとも言われる祭礼。拝殿で飾り提灯を中心に輪になり、皆で囃子を入れながら、即興で披露する唄を取り合い踊ります。

きっさ だん 喫茶 暖

清流で育った魚、六ノ里米のかまど炊きが味わえるランチ(要予約)がおすすめです。

郡上市白鳥町六ノ里1088-1
TEL.0575-84-1418



さきょう かさい そば茶寮 笠井

山里にたたずむ古民家で、地元食材で丁寧に作られた蕎麦と季節のごちそうが堪能。

郡上市白鳥町六ノ里546-3
TEL.0575-84-1005

